

いろいろな個性が集うから楽しい「福祉の現場」。働く人たちにその魅力ややりがいをインタビュー!

## 人と地域、多様な分野のつなぎ役に

調布市希望の家 本場 本田裕人さん

「やりたい」「できた」を一緒に探し、見つける喜び

調布市社会福祉協議会(以下、社協)が運営する「調布市希望の家本場」の現場責任者を務める本田さん。「事業所で過ごす時間はもちろん、生活全般においてその方らしい暮らし全般にどのようなものかをメンバーと一緒に考え、作っていくことに責任とやりがいを感じています。時間をかけてその方に寄り添っているうちに、一見問題行動と思われたことについて、その背景が見えてきたり、意欲的に取り組める活動が増えたりすることもあります。その方の「可能性が広がった」「生活の質がより良くなった」と感じた時はうれしいです。また、社協として大切にしているのが地域とのつながりです。家庭等からの余剰食品を必要な方に届ける「フードバンク調布」の食品運搬を担っていることもその一つ。今後は、自らの経験や様々な人と出会える社協の強みを生かして、分野と分野をつなぎ、制度はまだまにいらっしやる方たちの支援などにも関わっていきたいです」

一人一人個性的なメンバーとの関わりが楽しい。作業中の何気ないおしゃべりで笑顔に。



一人一人個性的なメンバーとの関わりが楽しい。作業中の何気ないおしゃべりで笑顔に。



調布市希望の家 本場  
知的障害の方のための通所施設。受託作業や工芸品の制作など幅広い作業を提供しその人らしい地域生活を支援しています。  
調布市富士見町2-16-33  
042-481-7700

## みんなにやさしいまち ちょうふ

「障害のある人が利用しやすい場所」は誰にとってもやさしい場所。障害がある人に配慮がある施設やお店などをシリーズで紹介します。

## 誰もが安心して利用できる 「かかりつけ医」

柴崎 西田医院

障害のある人こそ日頃から医療につながってほしい

院長の西田伸一先生は、日頃から気軽に相談ができる「かかりつけ医」を持つ大切さを訴えています。「調布市医師会会長として市の障害者総合計画策定などに関わる中で、知的障害のある、特に成人の方がほとんど医療とつながっていない状況に気付きました。障害のある人は自分から症状を訴えたり自覚したりすることが難しい場合があります。だからこそ普段から様子を把握してもらえ、馴染みのかかりつけ医を作ることが必要です。しかし実際に当事者の方に伺うと、「診療待ちが難しい」「付き添い

の負担」など私たちが思っていた以上に受診に困難さを感じておられる。医療の世界はまだまだ、障害への理解が希薄だと感じました。西田医院も診療所として少しずつ取り組み始めています。「まだまだ不十分ではありますが、バリアフリーや院内点字ブロックの設置、待合室で待てない方のための呼び出しプザーなど障害のある方にも対応できるよう工夫しています。これは調布市医師会としても取り組むべき課題。皆様のご意見を聞きながら、障害のある方が負担なく受診できる医療環境を作っていきたいです」



待合室はバリアフリー。手すりや、視覚指示などの工夫もされています。



待合室の外でも使える、順番待ちの負担が減る「呼び出しプザー」。



西田医院  
(内科・外科・小児科)  
調布市柴崎1-64-13  
042-483-1350

## メンバーに学びながら共に成長

創造農園 園原 空良さん

農業高校出身の経歴を生かして農園事業を一手に担当

40年以上の歴史を持つ精神障害者就労支援施設が、2年前に支援内容を大幅にリニューアル。中でも特徴的な農園事業を担当しているのが園原さんです。「敷地内と隣2か所の有機農場からの朝採れ無農薬野菜やハーブを併設のカフェ「空と大地」で提供、直売しています。農作業は人を元気にする作用があるのだと思いますが、最初は事業所に来るのもやっとだった方が、少しずつ自分の体調や気分の波と付き合いながら通う

頻度が増え、自分から様々なことに取り組まれている姿には心打たれます。年齢的には私より年上の方がほとんどなので、人生の先輩として教えてもらうことも多いです。支援者とメンバーの区別もなく、提案したことを「やってみましょう」と言ってくれる自由な雰囲気があるのが魅力。地元の方にファンも多い野菜の直売も、メンバーのアイディアからなんです。一緒に働いていくという実感がやりがいになっています」



土づくりから根気よく、大切に育てた野菜たち。農業高校時代に学んだ知識も役立ちます。



創造農園  
精神障害の方のための通所施設。PC、農園、清掃、手芸、陶芸など様々な作業メニューを用意。カフェ「空と大地」併設。  
調布市東つつじヶ丘2-27-1  
03-5314-7081

## 「わくわ〜く」が生まれ変わりました!

「わくわ〜く」を発行している調布市福祉作業所等連絡会(市内の障害児者事業所等の集まり)は、事業所のメンバーの生活や仕事の中の「わくわ〜く」を増やすべく各所と連携し活動中です。本誌では、メンバーや連絡会の活動の様子をお伝えしています。今年度は「市長との懇談」もオンラインで実施するなど、各イベント等もコロナ禍で様々な工夫をこらしての活動となりました。



「わくわ〜く」編集委員一同

## ご意見、ご感想募集

わくわ〜くへのご意見、ご感想をぜひお寄せください。二次元コードのフォームにてお送りください。



# Topics

調布市内の福祉作業所や放課後等デイサービスでは、ボランティアや職員の募集を行っている施設もあります。詳細は各事業所にお問い合わせください(本誌裏表紙に一覧)